



栃木市国際交流協会 だより

2025年3月31日発行

Tochigi City International Center

第17号

外国人住民と市長との意見交換会「インターナショナル・トーク」を開催



10月13日（日）、きららの杜とちぎ蔵の街楽習館において、フィリピン・ペルー・ネパール・スリランカ・タイ・中国・ベトナム・パキスタン出身の13名が「みんなが暮らしやすい街づくり」をテーマに市長との意見交換会を行いました。外国人住民の代表が直接市長に意見を提言するのは、今回が初めての試みです。

今回参加した皆さんからは、栃木市で暮らして感じたこと、生活していて困ったこと、地域でのつながりを持つためにやってみたいことなどの発言がありました。特に生活していて困ったこととして、ごみ問題、市役所での手続き、病院や緊急時の対応などが話題にあがりました。また、市が外国人住民の意見を重視していることを実感したとか、今後もこのような話し合いの場が開かれることを期待しているという声が聞かれました。

うづま〜れ日本語教室

うづま〜れ日本語教室は、中央教室と大平教室の2箇所で行っています。教室での日本語学習のほか、学習者と日本語学習支援者双方が対等な関係をつくるため、さまざまな交流活動も実施しました。



▲とちぎクリーンプラザ見学



▲ヨシ灯りづくり



▲おしゃべりクラス



▲うづま〜れのポスターづくり

日本語学習支援者養成講座



11月8日から2月14日まで、栃木市国際交流協会地域日本語教育アドバイザーの角田亮子さんを講師に、日本語学習支援者養成講座を全8回で行いました。受講者には令和7年4月から日本語学習支援者として、うづま〜れ日本語教室で活動していただく予定です。

日本語学習支援者対象研修会



2月15日（土）、うづま〜れ日本語教室の日本語学習支援者を対象に公益財団法人栃木県国際交流協会地域日本語教育コーディネーター福田あゆみさんを講師に、「多文化共生と日本語教室のこれから」と題した研修会を行いました。地域日本語教室が多文化共生の最前線にあることを認識し、支援者の役割などを考えていただきました。

第19回日本語スピーチコンテスト



2月9日（日）、ホテルサンルート栃木にて、第19回日本語スピーチコンテストを国際ソロプチミスト栃木との共催で開催しました。今年度は、ベトナム、インドネシア、パキスタン等9か国、20名が参加しました。

審査の結果、最優秀賞には、モンゴルの牧草を日本で研究し、新薬を開発して世界中の人々に健康的で、より良い未来を提供したいという夢を語ったモンゴル出身の留学生、ムンフバヤル マラルゴーさんの「私の夢、再決意」が選ばれました。



▲出場者のみなさん



▲審査の合間には、荒井庸子さんのピアノと川上真智子さんのソプラノの演奏がありました。



▲最優秀賞 ムンフバヤル マラルゴーさん

☆日本語スピーチコンテスト上位入賞者（敬称略）

*当協会HPからスピーチの動画を見ることができます。

賞	氏 名	出身国	タ イ ト ル
最優秀賞	ムンフバヤル マラルゴー	モンゴル	私の夢、再決意
ソロプチミスト賞	バダシェンゲル オトゴンジャーガル	モンゴル	本当の自分と向き合った1年半
優秀賞	エンフムンク ミシェフナラン	モンゴル	モンゴルの未来
優秀賞	シャンタン ペンパ	ネパール	あきらめずに頑張ったこと
特別賞	プランギ ファジュリ	インドネシア	インドネシアの伝統芸能「ワヤン」について
特別賞	ヴォ ティ トゥイ ズオン	ベトナム	LGBT

外国人のための消防団入団説明会の開催 ▶▶



▲消防団の概要について説明がありました。



▲現役外国人団員の体験談を聞きました。



4

栃木市国際交流協会だより
第17号

1月10日（金）、きららの杜とちぎ蔵の街楽習館において、本市における多文化共生社会の実現に向けた取り組みとして、外国人住民が地域の消防団に入団し、地域の防災力向上に寄与できる人材を育成しようと、「外国人のための消防団入団説明会」を開催しました。

当日は、フィリピン・ネパール・ペルー・スリランカ国籍の18名が参加し、栃木消防本部消防総務課職員から消防団の概要、入団までの手続き等の説明を受け、現役外国人団員からの体験談を熱心に聞き入っていました。

そして、説明会に参加した人の中から、日本語能力や地元自治会からの推薦等の条件に見合ったフィリピン国籍の3名が令和7年4月から正式に、栃木地域と大平地域の消防団へ入団することが決まりました。

また、説明会参加者以外にも、地域から推薦のあった中国籍の方も新たに入団されることになり、栃木市消防団の外国人団員は、7名になります。（現役の外国籍の方の内訳は、アメリカ2名、カナダ1名）

外国人団員には、地域の中で災害弱者に寄り添える防災リーダーとして、今後の活躍が期待されます。



▲令和7年度消防団入団式に参加

「みんなの防災教室」を開催 ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶



▲防災士から防災グッズの作り方の説明がありました。



▲段ボールベッドの寝心地はいかが？

3月1日（土）、きららの杜とちぎ蔵の街楽習館にて、外国人住民を対象に、公益財団法人栃木県国際交流協会（TIA）が主催、栃木市国際交流協会が共催で、「みんなの防災教室」を開催しました。フィリピン、ネパール等出身の27名が参加しました。

まずはTIA職員による日本の災害についての説明を受けた後、栃木市の防災マップを利用して避難所探しを行いました。また、栃木県防災士会の皆さんによる避難所体験が行われ、非常食の作り方、ポリ袋を使った防寒服作り、簡易トイレ作り、段ボールベッドの組み立てなどを体験しました。

参加者は、災害時にどこに避難したらいいのかがわかって安心したとか、防災対策の準備に役立ったとか、もっと外国人住民が防災に理解を深めたら安全に暮らせるなどの感想を述べていました。

栃木市総合防災訓練に参加 ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶



▲避難所で通訳を介して受付用紙を記入



▲避難所へ避難訓練

11月30日（土）、大平運動公園において、令和6年度栃木市総合防災訓練に、フィリピンやネパール国籍の皆さん18名が参加しました。訓練の内容は、栃木県南西部を震源とする大地震が発生したという想定のもと、当協会は多言語支援センターの開設訓練を行い、外国人参加者の皆さんは、避難所までの避難訓練と避難所での受付訓練を行いました。

金華市訪問団来訪 金華市の花ツバキを植樹

10月21日（月）、中国浙江省金華市から、王志強金華市人民政府副市長を団長とする訪問団一行8名が栃木市を訪問し、大川秀子栃木市長に表敬訪問したほか、金華市との友好都市交流30周年を記念して、栃木市総合運動公園内に、金華市の花であるツバキを植樹しました。植樹したツバキは、3月下旬に、初めてピンクの花を咲かせました。また、今回ツバキを植樹した後ろには、1991年5月に、当時の金華市長が植樹した金華市の木クスノキが大木となり生い茂っています。



▲開花した花



▲金華市の桜の名所国際友城公園



▲植樹式

なお、金華市では、1996年10月と2008年3月に金華市を訪問した栃木市小学生訪問団が植樹した桜の苗木が大きくなり、栃木市と金華市の友情の証である「国際友城公園」で、毎年見事な花を咲かせています。

この公園は、大勢の金華市民が集う、憩いの場であり、また栃木市を身近に感じられる場でもあります。

海のむこうの暮らし～ダイバーシティin栃木市～ FMくら5857新番組

2025年4月から毎月第3土曜日、午後6時から6時55分まで、ペルー、スリランカ、ネパール、フィリピン出身の栃木市国際交流協会放送ボランティアが出演し、自国の文化や国民性、日本との暮らしの違い、栃木市での生活のヒントなどを楽しく語るラジオ番組が始まります。

栃木市に住む外国人向けの行政情報も多言語でお伝えします。ぜひお聴きください！

<放送予定日>

ペルー	4/19	8/16	12/20
スリランカ	5/17	9/20	1/17
ネパール	6/21	10/18	2/21
フィリピン	7/19	11/15	3/21



▲出演者のみなさん

とちぎ蔵の街自主夜間中学

令和7年4月から、毎月第1・3・4
日曜日の月3回の開催になります。



▲授業の様子 中高生のクラス



▲社会人のクラス



▲小学生のクラス



▲3月30日開催されたオープンキャンパスに、市長が出席しました。

「とちぎに夜間中学をつくり育てる会」と共催で、きららの杜とちぎ蔵の街楽習館を会場に、10月から毎月2回、日曜日の午前9時30分から12時まで、「とちぎ蔵の街自主夜間中学」を開催しました。

自主夜間中学とは、「だれでも いつからでも いつまでも」、学びたい人が誰でも無料で学べる場所です。

「とちぎに夜間中学をつくり育てる会（代表 田巻松雄氏）」は、とちぎ自主夜間中学宇都宮校（宇都宮市）、多様な学び教室（宇都宮大学）で自主夜間中学を開校し、また外国人児童生徒の学習支援のための教材開発を行ってきました。そして8月に『中学教科単語帳』（日本語⇒ネパール語）の発行を記念した交流会をネパール人住民が多い栃木市で開催したことを契機に、栃木市に「とちぎ蔵の街自主夜間中学」を開校しました。

現在、約20名のボランティアスタッフが1対1のマンツーマン方式で、毎回約20名の学習者を応援しています。小学生、中高生、社会人のクラスに分かれて、それぞれの目的に合った日本語学習や教科学習をしています。来日後、学齢超過のため中学校へ入ることができなかった10代の外国籍の学生も、自主夜間中学に通うことで、3月の入学試験に見事合格し、希望の高校へ進学することができました。

このように、自主夜間中学は、年齢も国籍も多様な人たちが集まって学んでいて、圧倒的に外国人学習者が多いということもあり、地域の多文化共生の推進を目指す国際交流協会と共通する理念があります。

10月から半年間やってきて、栃木市における自主夜間中学への需要が高まっています。当協会は、「とちぎに夜間中学をつくり育てる会」と連携しながら、今後も積極的に自主夜間中学の運営に関わっていきたいと考えています。

日本語教室 生活に必要な日本語が学べます

うづま〜れ中央教室

日時：毎週水曜日

10:00 am~11:30 am

場所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（栃木市入舟町6-8）

受講料：無料

うづま〜れ大平教室

日時：第1・2・4土曜日

10:00 am~11:30 am

場所：大平ふるさとふれあい館（栃木市大平町真弓1396）

受講料：無料

アミーゴ日曜クラス

日時：第1・2・3日曜日

10:00 am~12:00 pm

場所：第5地区コミュニティセンター（栃木市箱森町36-31）

受講料：1か月1,000円

多言語情報コーナー FMくらら857

外国人住民に対する更なる情報発信の強化を図るため、ラジオ放送(FMくらら857)を利用して、英語・ネパール語・フィリピン語・スペイン語・中国語・ベトナム語・シンハラ語の7言語で、栃木市の情報を放送しています。

毎月最終週 『とち介PのHAPPY TOWN』の後半 午前11時35分~11時55分

月曜日：フィリピン語、火曜日：ネパール語、水曜日：中国語、木曜日：スペイン語、

金曜日：英語、翌週の月曜日：シンハラ語、水曜日：ベトナム語（入替がある場合もあります）

☆ 情報は、ラジオ放送のほか、栃木市及び栃木市国際交流協会のホームページで読むこともできます。

外国人相談窓口 英語・スペイン語相談員が対応します

英語：（曜日）月・火・水・金（時間）8:30~16:00

スペイン語：（曜日）月・水・木・金（時間）8:30~17:00

毎週火曜日 栃木市役所本庁舎 市民生活課 8:30~17:00

☆ 通訳・翻訳業務を承ります。

相談専用電話

0282-22-5177

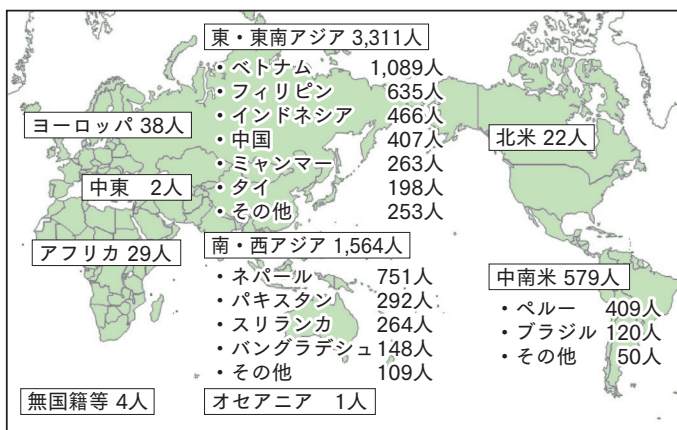
栃木市大平総合支所 大平地域づくり推進課には英語通訳がいます（無料）

水曜日 15:00~17:00

※第2水曜日は15:00~19:00

☆ 窓口での手続きがスムーズに進むよう、お手伝いをします。どうぞご利用ください。

栃木市外国人登録者数



2025年3月末現在	男	女	合計
外国籍（栃木市全体）	3,121人	2,429人	5,550人
栃木地域	1,444人	1,341人	2,785人
大平地域	847人	564人	1,411人
藤岡地域	215人	124人	339人
都賀地域	203人	130人	333人
西方地域	167人	78人	245人
岩舟地域	245人	192人	437人
栃木市全人口	76,372人	75,983人	152,355人

発行

栃木市国際交流協会（TIC）

〒328-0016

栃木市入舟町6番8号

きららの杜とちぎ蔵の街楽習館内

TEL：0282-25-3792 FAX：0282-25-3928

E-mail：info@tic-tochigi.jp URL：http://www.tic-tochigi.jp

ホームページは
スマホに対応
しています

